

学校教育の充実

施策のめざす姿

学校生活に満足している児童・生徒が増加します。

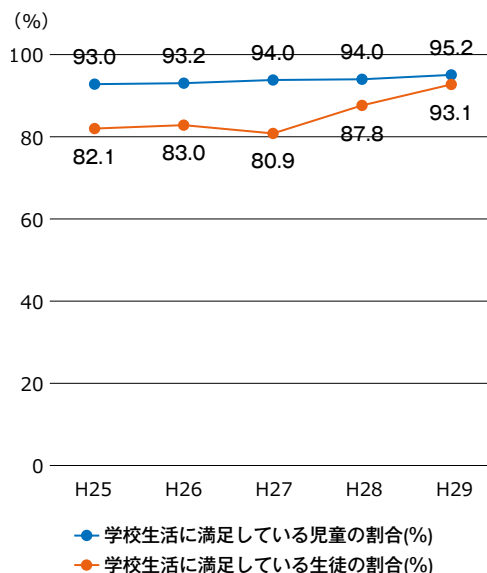
施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
学校生活に満足している児童の割合	95.2%	95.2%	児童・生徒の学校生活に対する満足度の維持向上を目指します。
学校生活に満足している生徒の割合	93.1%	95.0%	

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 少子化により児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。
- ◆ 近年の教育課題として、経済格差から子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。
- ◆ 確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善を図る必要があります。
- ◆ 児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じる必要があります。
- ◆ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてICT機器の有効活用を図る必要があります。
- ◆ 社会全体で子どもたちを守り育むため、学校・家庭・地域が協働できる体制づくりを推進する必要があります。

前総合計画期間の施策の成果指標推移



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 重点 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	教科の特性を踏まえた個に応じた授業が受けられます。	学力の向上が見られる児童の割合	57.5%	60.0%	児童・生徒一人ひとりのニーズに対応した、学習環境を整え、学力の向上を目指します。
		学力の向上が見られる生徒の割合	54.4%	56.0%	
		中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	36.1%	50.0%	英語検定の受検料等の補助を通じて、中学3年生の3級以上の取得を目指します。
2 「健やかな体」の育成	健康な体がつくれます。	生活習慣の改善に努めた生徒の割合	23.1%	30.0%	健康診断で要指導等と判定された生徒に対し、改善を促すことで、健康な体づくりの向上を目指します。
		朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	82.8%	85.0%	食育の推進に努め、家庭と連携し、朝食の摂取率の向上を目指します。
3 「豊かな心」を育む	自ら律しつつ、相手を思いやる心を持つ児童・生徒が増加します。	不登校児童の割合	0.61%	0.45%	魅力ある学校づくりに努め不登校児童・生徒の出現率の減少を目指します。
		不登校生徒の割合	4.23%	3.73%	
		道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	92.2%	97.0%	新たに導入される「特別な教科道徳」を充実させ、道徳性・規律性の意識の向上を目指します。
4 重点 ICT教育の実践	ICT教育の実践や情報化に取り組むことで、教育の質の向上が図られます。	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	56.7%	60.0%	I C T機器を活用した授業を推進することで、学習意欲の向上を目指します。
		ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	38.8%	45.0%	
		授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	37.7%	50.0%	半数以上の教員が週1回以上I C Tを使用することを目指します。
5 教育環境の整備	豊かな学校生活を送るための安全・安心な教育環境・施設になっています。	学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	0件	0件	事故を発生させないことを目指します。
		複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	2校	0校	児童・生徒の減少に対応した教育環境の整備を推進することにより、成果の向上を目指します。
6 地域と学校の協力体制の推進	地域の人材を活用し、学校と地域の協働で子どもたちを育みます。	学校教育活動に協力した市民数	533人	600人	地域の人材を活用し、学校教育活動の充実に努めます。
		コミュニティ・スクール導入学校数	0校	3校	統合校にコミュニティ・スクールを設置していきます。

用語解説

少人数指導

：子どもたちにきめ細やかな指導が行えるよう、教員の配置をするものです。

コミュニティ・スクール

：コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みのことです。

生涯学習の推進

施策のめざす姿

生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

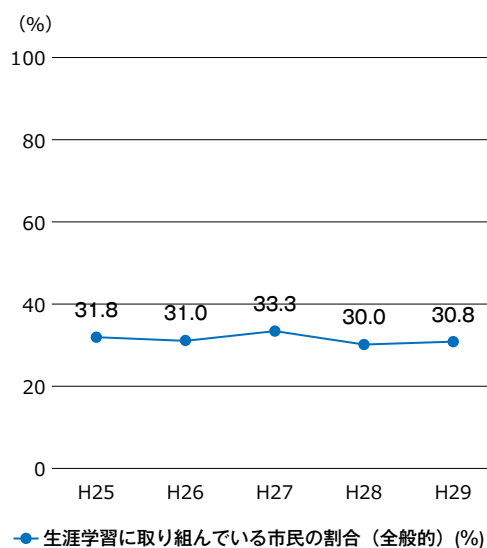
施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）	30.8%	33.0%	「一億総活躍社会」実現のため、個々の場面に適した生涯学習に取り組む市民を増やします。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 市民の学習ニーズの多様化・高度化が進んでおり、これらのニーズに対応した講座の充実が求められています。
- ◆ 生涯学習施設利用者の高齢化・固定化が進んでいます。新たなニーズを模索し市民誰もが参加しやすい学習・文化事業の展開が必要です。また、各施設については老朽化が進行しており、公共施設等総合管理計画に基づく、施設の適正配置及び維持管理が必要となっています。
- ◆ 市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件、市90件の指定文化財があります。これらを周知・活用した学習機会を増やすことで、郷土愛の醸成につなげます。
- ◆ 芸術文化への関心が高まり、活動への新規参加者は増加傾向にあります。一方で、郷土芸能活動をはじめとする伝統文化等の継承・保存は担い手不足等により困難になっています。
- ◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機に、グローバル化が急速に進んでいます。多文化交流・理解力・国際競争力が求められる中、広い視野を持つ人材の育成が必要です。

前総合計画期間の施策の成果指標推移



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 主体的な学習の推進	自主的・創造的な学習意欲が高まり、主体的な学習活動が活発化しています。	市主催の生涯学習講座の年間参加者数	3,899 人	4,288 人	市民のニーズに即した講座の見直し等により、特色ある講座開設による新たな参加者確保に努めます。
		自主クラブ登録数	122 グループ	127 グループ	自主クラブ発足につながる、新たな講座の開設・情報提供を行い、主体的な学習活動の活発化につなげます。
2 生涯学習施設の利用促進	生涯学習施設が多くの市民に利用されています。	生涯学習施設の利用者数	338,515 人	326,900 人	施設の適正管理とあわせ、年齢層や施設に応じたプログラムの構築を行い、利用者数の確保に努めます。
3 文化財の保護・活用	文化財の活用により、市民の文化財への関心が高まり、文化財が保護、継承されます。	市民が認識している市内文化財数(全 14 項目)	7.25 項目	7.80 項目	歴史講座等を開催し、市内にある国・県・市が指定する文化財の周知に努めます。
		文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	9,542 人	10,000 人	文化財・歴史資料の展示等に工夫しつつ、体験事業の充実を図り、利用者の拡大に努めます。
4 芸術文化活動の充実	芸術文化の鑑賞・活動・発表等を通じて、芸術文化に親しみ心豊かな潤いのある生活を送っています。 芸術文化活動に参加できる体制が整っています。	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	62.3%	66.0%	市民のニーズを捉えた事業を行うとともに、身近な芸術鑑賞の場として認知されるよう努めます。
		市主催の芸術文化事業への参加者数	10,010 人	10,000 人	参加型事業の拡充等、事業の形態を広げることで、新たな参加者の確保に努めます。
		芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	42.5%	47.5%	主催・共催事業等を通じて、芸術文化活動・発表等の機会の充実を図り、成果向上を目指します。
5 青少年の育成	健全に育成され、様々な体験をして見聞を広めます。	青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	4,102 人	3,482 人	少子化が進行する中、行事等の内容を工夫し、参加者の確保に努めます。
		海外派遣事業応募者数	28 人	35 人	グローバル社会が到来する中、世界に目を向けた青少年の育成に努めます。

用語解説

一億総活躍社会	： 政府を挙げ取り組んでいる社会像のことで、若者も高齢者も、女性も男性も、障がいや難病のある方々も、一度失敗を経験した人も、全ての人が包摂され活躍できる社会のことです。
生涯学習施設	： 文化活動や趣味教養、ボランティア活動、講演会、講座等、市民への生涯学習機会の提供や支援を行う拠点で、ここでは山武市が設置している公民館、図書館、文化会館等を指します。
芸術文化	： 人間が長年にわたって形成してきた習慣や振舞いの体系で、ここでは主に文学や美術、音楽等を指します。

スポーツの振興

施策のめざす姿

継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

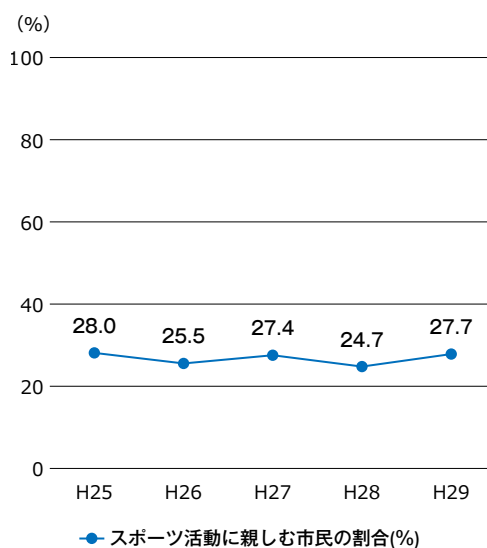
施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
スポーツ活動に親しむ市民の割合	27.7%	28.0%	スポーツイベントや教室等を通じ、幅広い年齢の市民の健康意識の高揚を図ります。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 高齢化社会の進行により、高齢者の健康意識の高まりによる体力づくりやスポーツ活動への参加が年々増加傾向にあるため、状況に応じたプログラムの整備を行うことで、子どもから高齢者までが、スポーツを継続的に取り組むことができる環境づくり（総合型地域スポーツクラブの設置）を推進します。
- ◆ 少子化に伴う少年スポーツ団体数の減少や統合により、各種団体への登録人数が減少している状況を踏まえ、子どもたちの運動機会を増やすため、一般家庭等にしながら利用できる公共スポーツ施設予約システムの構築による利便性の向上を図ります。
- ◆ 経年劣化により老朽化したスポーツ施設の改修整備等を行い、多くの方が気持ちよく利用できる環境づくりを図ります。

前総合計画期間の施策の成果指標推移



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 スポーツ活動の充実	スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツに親しむことができます。	スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	14.4%	14.6%	情報発信を積極的に行い、成果向上を目指します。
		スポーツ大会・教室の機会の充足度	63.7%	66.2%	多様な参加ができる取組を推進し、成果向上を目指します。
2 体育関係団体・指導者の育成	体育関係団体・指導者が育成され、地域でのスポーツ活動が活発になります。	スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）	49 団体	50 団体	地域で安心してスポーツを楽しめる環境づくりを行い、成果の維持向上を目指します。
		体育関係団体の指導者数	133 人	135 人	スポーツ団体の減少や統合を踏まえ指導者の育成を行い、成果向上を目指します。
3 体育施設の利用促進	市民の多くが体育施設を快適に利用することができます。	体育施設の利用者数	144,471 人	148,122 人	施設利用者の利便性向上を図ります。
		体育施設の修繕件数	0 件	0 件	計画的な点検や維持修繕を行い、成果維持を目指します。



成東総合運動公園での山武市民体育祭

用語解説

総合型地域スポーツクラブ

人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者、初心者からトップレベルまで参加できる特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

序
論

基本
構想

基本
計画

政策
1

政策
2

政策
3

政策
4

政策
5

政策
6

資料
編

人権尊重のまちづくり

施策のめざす姿

誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。
男女の不公平感が解消され、女性の社会進出の促進が図られます。

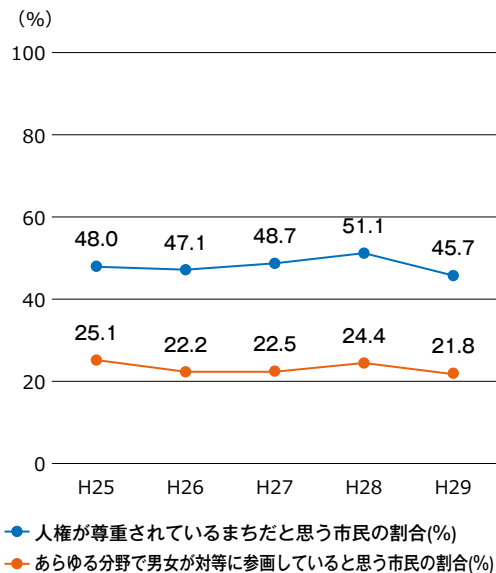
施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	45.7%	48.0%	人権に係る相談及び啓発等を通じて、成果の維持向上を目指します。
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合	21.8%	25.0%	男女共同参画に関する意識醸成を図ることで、成果向上を目指します。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆「人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合」は、ほぼ横ばいながらも微減しています。
- ◆ LGBTや外国人の人権等、配慮すべき多様な人権ニーズが生じており、注目を集めています。これらの多様な人権ニーズへの期待に応えられるよう、人権教育・啓発活動を推進します。
- ◆ 多様な人権問題の解決の糸口を見いだせるように、人権相談窓口を開設します。
- ◆ 「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合」は、平成25年度以降、低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえない状況にあります。このため、平成31年度から運用を開始する「第3次山武市男女共同参画計画」において、積極的に男女共同参画に関連する施策を推進する必要があります。

前総合計画期間の施策の成果指標推移



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 人権教育・人権啓発の推進	多様な人権が尊重され、人権を侵害させない教育・啓発が行われます。	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	24.3%	24.3%	人権に係る教育・啓発活動を通じて、成果の維持向上を目指します。
		この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	10.5%	10.5%	人権侵害につながる言動を、現状以下に留めることを目指します。
2 人権擁護の推進	多様な人権を侵害する虐待、暴力、差別及び偏見がなくなります。	人権侵害に対する措置件数	424件	424件	人権相談窓口等での支援を行いながら、現状以下に留めることを目指します。
3 男女共同参画の推進	男女共同参画意識が定着します。	審議会などに女性委員が登用されている割合	23.5%	33.3%	近年は、現状値付近を推移していますが、全国的な目標値33.3%を引き続き目指します。
		「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合	73.3%	75.0%	前総合計画で達成した水準を維持させながら、より意識向上を目指します。
		男性が家事・育児に積極的に参加している割合	40.1%	45.0%	男女間の意識差の解消のため、男性の家事・育児への参加割合の向上を目指します。



用語解説

LGBT

：性的少数者を指す言葉であり、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（心と体の性の不一致）の頭文字をとった総称のことです。